

仙人通信 197 三浦富士(183m)・武山(200m)

三浦富士は、三浦半島の先端の津久井浜の北側に座し、西側に大塚山・武山へと繋がる尾根上にある二等三角点の山である。

京浜急行の長沢駅から尾根伝いに3山を歩き、津久井浜駅に戻るコースとした。

長沢駅前の山側にあるロータリを左手に、そして住宅団地沿いの県道を500m程進んだ先の津久井小学校の端に立つハイキングコースの案内板に従い、200m程進むと浅間神社の鳥居だ(ここまで35分)。この鳥居を潜り、コンクリートで舗装された参道を登る。

参道の端には、ツワブキやイヌダテの花が秋を告げていた。みかん畑や太陽光パネルが連なる中を10分程進むと、横須賀警察犬訓練所だ。この先はコンクリートの丸太で作られた階段で、登山コースの始まりである。10分程で仏者千人衆地藏が安置され、その先は尾根となる。尾根は青木・楠等の木々に覆われているも、時折梢越しに海が顔を出してくれる。静かな尾根道であるも突然リスが足元に現れ、小生を見ながら2m程先を道案内よろしく山頂に向かい登って行った(台湾リスだそうで、今回10匹と出会うことができた)。

5分程で、石の祠が祀られた三浦富士の山頂である。三浦富士は、富士山浅間神社の分霊を祀った事に由来し、家内安全や大漁祈願を願う山岳信仰の山だそうだ。

真西に先日初冠雪した富士山が望めた。気温が高い性もあり、眼下は霞んでいるも、津久井浜や三崎口は確認できた。木々に覆われた尾根路であるが、梢越しに民家や畑も望めた。

20分程で小さなピークを4つ越えた先で、軽トラが走れる程度の林道に出る。多くの白いノギクが山際に見られるコースだ。この林道を8分程で津久井浜駅へ向かう分岐点が、更に7分程でベンチの置かれた展望台である。霞が薄れ、城ヶ島方面も確認できた。

コースから右上に5分程登ると、無線の中継アンテナのある大塚山山頂だ。別名砲台山とも呼ばれ、昭和の初期に海軍が造った直径10m程の砲台の遺跡がアンテナの横に残っている。

コースに戻り尾根を辿ること25分程で武山の展望台である。眼下には2000株程の躑躅があり、春には見事な花との事だ。遠くは霞んではいるが、房総の山脈も確認する事ができた。三浦半島は10億年程前に隆起した地層で、山の下には武山活断層が走っている事で有名であり、そんな地形を眼下に観察できた。一方展望台の西側の山頂には、航海安全の浪切不動で知られた武山不動様が祀られている。休憩後10分程下った地点の大木が先日の台風で押し倒され、その先に富士山を見る事が出来た。更に15分程下がると、こちらも綺麗なお地藏さんがやさしく迎えてくれました。その先からはコンクリートの農道だ。

熟れ始めたみかん園や津久井公園を過ぎ、津久井川に沿って整然と植えられたキャベツ畑を眺めながら津久井浜駅に辿り着いた3時間30分(17000歩)の山旅でした。(R1.11.1)

三浦富士山頂の祠

大塚山の砲台遺跡

武山不動尊

みかん畑と武山

